

とっとり観光ニュース 2009年 2月号

1 世界砂像フェスティバル

“鳥取県”といえば、何をイメージされますか？最近では、水木しげる先生の鬼太郎パワーのおかげで、妖怪のまちとしても知名度が上がってきていますが、やはり“鳥取砂丘”のイメージが根強いようです。



万里の長城（夜）

その鳥取砂丘で、昨年4月26日から今年1月3日まで「砂の美術館」が開催されました。「世界遺産・アジア編～アジアの風に乗って～」をテーマに、中国の兵馬俑やインドのタージマハルなど計31体の砂像を展示。国内外で活躍する世界トップレベルの砂の彫刻家による作品は、どれも「ほんとに砂だけでできているの？」と、その精巧なつくり感動せずにはいられません。夜はライトアップも行われ、訪れた人々を幻想的な世界へ誘いました。2006

年に始まった砂の美術館ですが、このたびの第2期展

示に

は予想を大きく上回る32万人もの入場がありました。

そんな素晴らしい「砂の美術館」を見逃した！という方に朗報です。この春、鳥取自動車道の鳥取県側開通を契機に開催する「2009鳥取・因幡の祭典」のオープニングイベントとして、「世界砂像フェスティバル」が開催されます。テーマは「世界の」
ストがその腕を競い合う「世界砂像選手権 in とっとり砂丘」で競われた砂像が展示されるほか、高さ約8メートル、幅約30メートルの巨大シンボル砂像も登場。果たして、どんなおとぎの世界が広がるのでしょうか。

世界トップレベルの砂像が一堂に会し、鑑賞することのできるまたとないチャンスです！ぜひこの春は鳥取砂丘へ！



■オープニングイベント 「世界砂像フェスティバル」～世界の童話～

■期 間 平成21年4月18日（土）～5月31日（日） 午前9時～午後9時

■料 金 普通入場券

・前 売 券：大人1,000円、小中学生500円（4/17まで販売）

・当 日 券：大人1,300円、小中学生600円

■場 所 鳥取砂丘オアシス広場（鳥取市福部町）

■入場券について

ただ今、前売入場券（第2期）を販売中です。主要旅行代理店、チケットぴあ（Pコード986-256）、ローソンチケット（第2期前売券Lコード61515、当日券Lコード61516）、世界砂像フェスティバルチケットショップなどでお求め下さい。コンビニ、下記ホームページからもご購入できます。

■お問い合わせ先 2009鳥取・因幡の祭典実行委員会 TEL：0857-27-8001

○2009鳥取・因幡の祭典 <http://www.tottori-inaba.jp/>

このほか、ステージイベントで行われるフレアバーテンダー世界大会上位入賞の実績を持つ前田

兄弟（鳥取市出身）のカクテルパフォーマンスショーが次の日程で繰り上げられます。いずれも夕刻から。

- 日 程 4月18日（土）、24日（金）
5月1日（金）、8日（金）、15日（金）、22日（金）、29日（金）、31日（日）

2 広島発→三朝温泉直行バス

安くて便利な広島駅→三朝温泉直行バスを今年も運行します。運行期間等は下記のとおりです。

また、現在、新春お年玉キャンペーンとして、三朝温泉の旅館に宿泊のお客様を対象に、スピードクジを実施中です。“あたり”ができればその場で「三朝みすと80g」1本を1,000名のお客様にプレゼントします。期間は2月28日まで。ぜひみなさん、この機会に三朝温泉にお越しください。



- 運行期間 平成21年2月10日（火）～3月1日（日）
- 行 程 [往路] 広島駅：新幹線口（9：00）→広島東IC→院庄IC
→温泉入口（12：55）→三朝温泉（13：00）
[復路] 燕趙園（14：30）→三朝温泉（14：45）→温泉入口（14：50）→院庄IC
→広島東IC→広島駅：新幹線口（18：45）
- 料 金 2,300円（往復）
※料金は大人、小人とも同じ。幼児でも座席を使用される場合には料金が必要。
- 定 員 40名（先着順）
- 予約条件 広島県内のJTB・日本旅行・近畿日本ツーリストで三朝温泉の旅館の宿泊予約をされた方
- お問い合わせ先 三朝温泉旅館協同組合 TEL：0858-43-0431

○三朝温泉 <http://www.tabijozu.ne.jp/~misasa/>

3 江戸時代から続く伝統行事「流しびな」

“もちがせの流しびな”は、旧暦の三月三日のひなまつりに男女一对の紙雛を棧俵にのせ、菱餅や桃の小枝を添えて、災厄を託して千代川（せんだいがわ）に流します。無病息災で1年間幸せに生活できるように願う情緒豊かな民俗行事です。昭和60年、県無形民俗文化財に“もちがせの雛送り”として指定されています。

もともと物忌みの行事で、紙などで人形（ひとがた）を作り、これで体をなで、災いをその人形にうつして川や海に流す行事から生まれた風習です。この行事がいつの頃から始められたのか、文献等の記録が少なく定かではありませんが、「源氏物語」に源氏の君が祓いをして人形を舟に乗せ、須磨の海へ流すという著述があり、雛流しそのものの原型は、遠く平安時代にさかのぼるといわれています。

ここ鳥取市用瀬町には今日まで、時代の変遷と共に形を変えながらも、“もちがせの流しびな”として受け継がれており、今年は3月29日（日）に開催されます。当日は、町内一般家庭のひな飾りを見学でき、さまざまな催しが午前10時から行われます。会場はJR用瀬駅から徒歩約5分。特急スーパーはくと号、特急スーパーいなば号のそれぞれ一部が用瀬駅に臨時停車する予定です。

また、様々なひな人形を展示している「もちがせ流しびなの館」も必見。鳥取県東部の「いなば温泉郷」（岩井・鳥取・吉岡・浜村・鹿野の各温泉）の宿泊と組み合わせて、のんびり春を満喫し



てみませんか。

- お問い合わせ先 (財)用瀬町ふるさと振興事業団 用瀬流しびな実行委員会
鳥取県鳥取市用瀬町別府 32-1 (流しびなの館内)
TEL : 0858-87-3222

流しびなの館ホームページ <http://nagashibinanoyakata.jp/>

4 今春3月上旬から見学可能！山陰随一の梅林「野花（のきょう）梅溪散策ツアー」

湯梨浜町原産の「野花豊後」が有名な鳥取県湯梨浜町野花は、東郷湖・日本海を望む景観を誇る「山陰随一の梅林」です。現在では2,000本の梅の木があり、3月上旬～3月下旬頃まで特徴あるピンク色の美しい花を咲かせます。



昭和15～16年の頃、鳥取県湯梨浜町野花・寺地信好さんの果樹園において突然変異による新品種が発見されました。実が大きく、果肉もしっかりと分厚い特徴を持ち、その品種は「野花豊後」と命名されました。開花期が遅くて結実が安定しているほか、着果率が高いのが特徴であると言われています。

2,000本の梅の花が咲き誇る3月上旬から下旬頃までの、春限定のツアー企画です。

～ツアー概要～

- 期間 3月上旬～3月下旬頃まで（天候等自然条件により年毎の開花状況は異なります。）
- 場所 湯梨浜町野花地区（「中国庭園 燕趙園」の駐車場をご利用ください。）
- 料金 330円
※オプションとして、隣接する「中国庭園 燕趙園」の入園料割引+中国グッズプレゼント
- 団体対応 20名～（最大受入可能人員 100名） ※原則団体対応
- 販売手数料設定あり 詳しくはお問合せください。
- おすすめポイント
 - ・「野花豊後」の加工品（ジュース等）をセットにした団体企画。
 - ・梅溪の散策路には、地域の加工グループによる茶店等が出展します。地域産物・加工品等のもてなしをお楽しみください。
- お問い合わせ先
〒689-0714 東伯郡湯梨浜町龍島500（湯梨浜町産業振興課内）
湯梨浜町観光協会 TEL 0858-32-1967 FAX 0858-32-2469

○湯梨浜町ホームページ <http://www.yurihama.jp>

○鳥取県観光連盟「鳥取県着地型観光素材集」 <http://www.tottori-guide.jp/sozaisyu.htm>

5 恐怖の絶景！断崖絶壁にたつ「三徳山三佛寺投入堂」

世の中のあらゆるジャンルのベスト3を大公開する「ザ・ベストハウス123」（フジテレビ系列全国ネット）で、三徳山三佛寺投入堂が、「恐怖の絶景！断崖絶壁にたつ建物BEST3」の第1位「900年前に建てられた、日本が誇る断崖絶壁建築」として紹介されました。（1月14日放送）

「投入堂」の通称で知られる奥院の建物は、垂直に切り立つ絶壁の窪みに建てられた他に類を見ない建築物で、国宝に指定されています。役行者（えんのぎょうじゃ）という修験者が、法力によ

ってこのお堂を岩窟に投げ入れたという伝説から、「投入堂」と呼ばれる。に断崖絶壁にたつ建物です。お堂を支える柱は岩場のわずかな窪みにのっくり）と呼ばれる高度な建築技術で、昨年1月末には、NHK BShi「夢の美術館～世界の名建築100選」でも取り上げられ、「奇跡の建築」としても紹介されました。

三徳山三佛寺は、鳥取県中部・三朝温泉から車で10分ほどのところに位置します。この三佛寺から国宝「投入堂」までは、往復およそ1時間半。難所といわれる「かずら坂」や「クサリ坂」、岩づたいの道「馬の背」「牛の背」を登り切り、「納経堂」、「観音堂」、「元結掛堂」、「不動堂」をぐるりと回り込むと、岩窟の中にそびえ建つ国宝「投入堂」がつい姿を現します。



あまりに過酷な立地から「日本一危険な国宝」とも呼ばれますが、「奇跡の建築」と称される「投入堂」、そして、それを包み込むようにそびえる三徳山を、今春、ぜひご体験あれ。

- 入山可能期間 4月～12月（12月～3月ぐらいまでは積雪のため、入山は禁止）
※開山予定日は4月1日です。天候により変更になることがあります。
- 参拝受付時間 8時～15時（参拝時間外は閉門）
※宝物殿・三佛寺本堂までの参拝は17時まで。
- 志納金（入山料） 三佛寺本堂まで 大人：400円、小人（小・中学生）：200円
投入堂参拝 大人：600円、小人（小・中学生）：300円
※投入堂までの料金には、本堂までの志納金を含む。
※20名様以上の場合は、50円の団体割引あり。
- その他
 - ・滑りやすい靴、金具の付いた登山靴では入山できません。ワラぞうり（1足500円）をご購入していただきます。
 - ・投入堂参拝受付時に輪袈裟（わけさ）をお貸ししますので、必ず着用してご参拝ください。
- お問い合わせ先 三徳山三佛寺 TEL：0858-43-2666、三朝町役場 TEL：0858-43-1111、三朝温泉観光協会 TEL：0858-43-0431

○三徳山三佛寺参考サイト <http://www5d.biglobe.ne.jp/~mitsky/>

6 加茂川・中海遊覧船

江戸末期から大正、昭和初期にかけて商屋が建ち並んでいた頃の面影を残す米子の「下町」。その下町風情を巡る観光遊覧船「加茂川・中海遊覧船」は、旧加茂川の川岸に建ち並ぶ白壁土蔵前の天神橋付近を出発し、懐かしい下町の景色を楽しみながら中海へと向かいます。ここからは一気に視界が拓け、水平線を望みながらのダイナミックな大航海がスタート。心地よい風に吹かれながら、米子城趾や市街を遠望、壮大なロケーションを満喫した後折り返すという、往復約40分の魅力的なコースです。途中、思わず腰をかがめて橋をくぐり抜けるといったちょっとしたスリルも味わうことができます。



また、定番の「加茂川・中海遊覧船」に加え、1日1本の特別便として、島根半島に沈む太陽と赤いじゅうたんを敷いたような中海の雄大な夕日をご覧いただく「サンセット・クルージング」や、ぼたんの花が満開となる春の季節には米子と大根島を結ぶ航路、秋には足立美術館まで足を運ぶ観光客の方に便利な米子と安来を結ぶ航路を新たに開設するなど、季節限定の航路も予定しております。

す。

- 運 行 時 間 1日2便(午前10時~/午後2時~)
※天候の状況により欠航する場合があります。
※12月~3月は天候が良く予約があれば運行(雨雪の場合欠航)。
- 往復の所要時間 約40分
- 最大受入可能数 1艘10名(2艘まで就航可能)
- 乗船料(往復) 大人(中学生以上)1,200円/小人(幼稚園児、小学生)600円
※上記料金は平成21年4月から。
※3月末までは大人1,000円/小人500円
- 乗船・下船場所 白壁土蔵前
- お申し込み・お問い合わせ先 米子市観光案内所 TEL:0859-22-6317
笑い庵(11時~17時) TEL:0859-23-3935

[サンセット・クルージング]

- 運 行 日 5月1日~10月初旬 晴れの日の夕方
- 往復の所要時間 約1時間
- お申し込み先 090-6837-2731(船頭・住田)
※当日までに要予約



○米子市観光協会「よなごがい~な」

<http://yonago.sanin.jp/p/kankouguide/shitamachi/01/>

7 日野川下りラフティング

ゴールデンウィークの連休に入ると日野川遊びの新しいメニュー「日野川下りラフティング」のシーズンとなります。これは、日野川の上流を6人乗りの手漕ぎのラフト(ゴムボート)で豪快に下るもので、日野川の自然を満喫しながら3kmのショートコース又は6kmのツーリングコースを仲間とともにゴールを目指します。変化に富んだ急流でスピード感を存分に味わえるところや、川幅が広がった緩流の部分では、ゆっくりと水面の静けさも楽しめます。

ボートにはガイド1名が付き、ラフトの楽しみ方や日野川の自然の魅力を説明します。日野川上流の新たな魅力のを見つける冒険に出かけ、鳥取の新たな魅力をみつけましょう。ご家族や仲間でご参加ください!

詳しい開催日や料金、注意事項などは下記へお問い合わせください。

- 開催日(予定) (春)4月25日(土)~5月末の期間中のゴールデンウィーク、土、日、祝日
(秋)10月3日(土)~11月1日(日)の期間中の土、日、祝日
- 集合時間 土曜日/午前の部・午前9時
午後の部・午後1時
日曜日・祝日/午前9時半(水量によりショートコースに変更)
- 集合場所 カヌーの里(日野町下榎)日野町カヌー艇庫
- コ ー ス 土曜日/日野町・かわこ公園付近~カヌーの里まで(約3キロ)
日曜日・祝日/日野町・上菅・乗越橋~かわこ公園(昼食)
~カヌーの里(約6キロ)
- 募集人員 土曜日/午前の部、午後の部とも各20名



- 日曜日・祝日ツーリングコース 20名(水量によりショートコースへ変更あり)
- 参加費 ショートコース／大人3,000円、中学生以下2,500円 親子5,000円
 ツーリングコース／大人6,000円、中学生以下3,000円 親子8,000円(昼食代含む)
 ※ラフト使用料、保険代、含む
- 服装 濡れても良い服装(化繊等で水を吸収しないもの)、濡れても良い靴、手袋
- 持ち物 着替え、タオル、携帯カイロ(寒い日)
- 募集期間 定員になり次第締め切り(先着順)開催週の水曜まで
 ※事前予約が必要です。また、申し込みには参加者全員の住所・氏名・年齢・性別・生年月日が必要です(傷害保険加入のため)。
- お申し込み・お問い合わせ先 日野町教育委員会 TEL:0859-72-2107 FAX:0859-72-1484
 E-mail: kyouiku@town.hino.tottori.jp
 自然体験塾 E-mail: sizen@hal.ne.jp

8 無料ガイドの説明でさらに魅力が深まる「ガイド付きツアー-DISCOVER WEST ハイキング」継続

魅力いっぱいの観光地を現地ボランティアガイドと一緒にめぐり、普段はわからない部分も詳しく解説!予約不要!しかも無料!で大変好評です。このハイキングは、決まった曜日・時間に決まった集合場所に集まってくると現地観光ガイドが無料で観光地を案内するという、個人旅行者向けの取り組みです。知的好奇心を満たしたい、地元の人と接したい、という旅行者には最適です。

4月以降も引き続き、鳥取、倉吉、米子の合計3コースで実施します。

鳥取コースは鳥取城跡や白亜の洋館、仁風閣などをめぐりながら豊臣秀吉の鳥取城攻めの話から徳川幕府最後の将軍と鳥取との関わりまで歴史的な逸話を。

倉吉コースはレトロな町並みや大阪の豪商淀屋と関わりの深い大蓮寺、南総里見八犬伝発祥の地といわれる大岳院などを巡り、名物料理などもご紹介。

米子コースは城下町の名残が色濃く残る下町をめぐり、昔ながらの駄菓子や9つの寺が整然と並ぶ寺町通りをご案内。それぞれ各地域の現地ガイドが詳しく説明します。

【戦国絵巻をゆく、鳥取歴史コース】(鳥取)

- 集合時間 日曜日13:00
- 集合場所 久松公園入口
- 距離 約1.5km
- 所要時間 約2時間
- お問い合わせ先 鳥取市観光案内所 TEL:0857-22-3318

【倉吉の歴史・文化探求コース】(倉吉)

- 集合時間 土曜日14:00、日・祝日10:00
- 集合場所 倉吉観光案内所
- 距離 約2km
- 所要時間 約2時間
- お問い合わせ先 倉吉観光案内所 TEL:0858-22-1200

【レトロモダン米子の下町歩きコース】(米子)

- 集合時間 日曜日10:00
- 集合場所 山陰歴史館(バスで市役所前下車すぐ)

- 距 離 約 1. 5 k m
- 所要時間 約 2 時間
- お問い合わせ先 米子市観光案内所 TEL:0859-22-6317

編集・発行：鳥取県文化観光局観光政策課 電話 0857-26-7237 FAX 0857-26-8308 E-mail kankou@pref.tottori.jp

発行年月日：平成 21 年 1 月 29 日 県内外のマスコミ関係者の皆様に、地元の視点から県内観光スポットや関連イベント等を紹介します。この観光ニュースは、マスコミ等の皆様へ定期的にお届けし、記事等の参考にしていただけるように心掛けて作っています。しかしながら、紙面には限りがあります。不明なところなどは気軽にお問い合わせくださいませようお願いします。複製・転載可。

－鳥取県観光情報はこちらから → <http://yokoso.pref.tottori.jp/>